



もののけ

絵解きトーク

「浮世絵の中のもののけ」

千葉県博覧公連携事業

講師 内田龍哉氏

(千葉県立中央博物館
主席研究員・歴史学研究科長)



日本では古くから妖怪や幽霊の伝説が伝わり、平安時代には真夜中の都大路を妖怪たちが練り歩く「百鬼夜行図」などの妖怪画が描かれはじめました。江戸時代の中頃になると、絵師たちは人々が抱く、妖怪への豊かな想像力をみごとに表現し、妖怪画は一大ブームを迎え、現代の妖怪ブームの火付け役となりました。

今回は、図書館内に複製画を展示中の歌川国芳「相馬の古内裏」をはじめ、浮世絵に描かれた「もののけ」について、わかりやすく解説していただきます。

日時: 2014年9月20日(土) 午後1時30分から3時まで

●場所: 千葉県立西部図書館 2階 研修室

●定員: 30名(申込先着順)

●問い合わせ・申し込み先:

千葉県立西部図書館 読書推進課

TEL: 047-385-4133 FAX: 047-384-1371

〒270-2252 松戸市千駄堀 657-7



月岡芳年「不知藪八幡之実怪」(千葉県立中央図書館所蔵)

(裏面様式)

送付先：千葉県立西部図書館 読書推進課

047-384-1371 (送付票不要)

「もののけ絵解きトーク」参加申込書

氏 名	電 話 番 号

注：申込書記載の個人情報については、本講演に関わる連絡の必要が生じた場合にのみ使用させていただきます。

千葉県立西部図書館

〒270-2252 松戸市千駄堀 657-7

TEL：047-385-4133 FAX：047-384-1371

* JR 武蔵野線「新八柱駅」、新京成電鉄「八柱駅」「常盤平駅」いずれからも徒歩 15 分程度。

* 駐車場は台数が少ないため公共交通機関のご利用にご協力ください。

なお、隣接する「森のホール」には有料の駐車場があります。

